

グローバルヘルスへの農林水産省の主な取組

令和3年7月

1. 東京栄養サミット（2021年12月（予定））

- ✓ 栄養改善に向けた国際的取組を促進する会合。オリ・パラ開催国がホスト。
- ✓ ①健康、②食、③強靱性、④説明責任、⑤財政、の5つのテーマに関して議論し、成果文書を取りまとめる予定。
- ✓ 我が国の栄養に対する国内外の取組を発信予定
- ✓ 食品関連企業がコミットメントを表明予定

2. 栄養改善事業推進プラットフォーム（NJPPP）・栄養改善ビジネス国際展開支援


- ✓ 官民連携で栄養改善事業を推進する枠組み（Nutrition Japan Public Private Platform, 民間企業、NGO、政府関係機関、JICA、食品産業センター等が参画）。
- ✓ 途上国の栄養不良問題の解決につながる栄養改善ビジネスモデル構築に対する支援（例：工場団地で働く日系企業の従業員を対象に、バランスの良い給食の提供・栄養教育の実施）

3. 包括的生産サイクル支援による西アフリカ食料安全保障・栄養改善推進事業

- ✓ WFPに拠出。小規模農家の栄養に関する基礎的知識の向上と農業指導を同時に実施。

東京栄養サミット2021の概要

- 栄養サミットとは、栄養改善に向けた国際的取組を促進する会合。オリンピック・パラリンピックの開催国が開催するのが慣行で、4年に一度開催されている。英国・ブラジルに続き開催。
- 東京栄養サミットは、2021年12月、東京都内で開催し、5つのテーマについて議論し、成果文書をまとめる予定。
- 農林水産省は、5つのテーマのうち、特に、テーマ2「食：健康的で持続可能な食料システムの構築」に関与。

概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 時期：2021年12月（予定） ● 場所：東京都内 ● 主催：日本政府 ● 想定される出席者：各国政府ハイレベル、国際機関、学術機関、市民社会、民間企業他 ● 目的：世界の栄養改善の現状と課題を確認し、課題解決のための国際的な取組を推進する 	
想定される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 下記の5つのテーマに関して、各ステークホルダーの参加のもと議論し、成果文書（コンパクト）をまとめる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康：栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）への統合 ② 食：健康的で持続可能な食料システムの構築 ③ 強靱性：脆弱な状況下における栄養不良対策 ④ 説明責任：データに基づくモニタリング ⑤ 財政：栄養改善のための財源確保 ● 我が国の栄養に対する国内外の取組をパッケージとして発信。 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の取組：国民健康・栄養調査、学校給食、栄養士の育成、母子健康手帳を用いた栄養指導等 ・近年の取組：生活習慣病に対する法的枠組みを含む取組、食育、健康経営、「IFNA」、「栄養改善事業推進プラットフォーム」等 	

【N4Gのためのロードマップ】

2020.12.14
Nutrition Year of
Action Launch event

2021.7.26-28
国連食料システム
プレサミット

2021.9
国連食料システムサミット

2021.12
東京栄養サミット2021

東京栄養サミット2021における農林水産省のサブセッション

- 農林水産省は、東京栄養サミットで議論される5つのテーマのうち、特に、テーマ2「食：健康的で持続可能な食料システムの構築」に関与。
- 農林水産省は、東京栄養サミットにおいて、食に関するセッションを開催し、海外展開を目指す我が国食品産業及び農林水産業のプレゼンスを高めるセミナー・シンポジウム等を実施。
- 東京栄養サミットに先立ち開催される「国連食料システムサミット」とも連携。

【東京栄養サミット開催事業】

<令和3年度予算概算決定額 40（30）百万円>

食に関するセッション

我が国における栄養分野に貢献する農業・食料産業に係る取組をPRする場の設定（パネル展示、セミナー、試食会）

栄養改善事業推進プラットフォーム（NJPPP）の取組を紹介

世界の栄養改善に貢献する食品企業・関係団体等の円卓会議

途上国等の海外政府関係者、影響力のあるNGO代表等を招へいし、我が国食品企業の世界の栄養分野への貢献に関するプレゼンテーションや、官民が連携した今後の取組についての議論を行う円卓会議等を開催

食料システムサミットとの連携イベント 食関連企業のコミットメント表明

国連食料システムサミットの成果報告会を実施
国内食品事業者等によるコミットメントのプレゼンテーションの開催を実施

コンテンツ開発

上記の議論を効果的に発信する展示物や映像等のコンテンツ（ツール等）を開発

広報活動

国内外のメディア・ソーシャルメディアを活用し、東京栄養サミットの実施及び成果の広報活動を実施

海外農業・貿易投資環境調査分析事業のうち 食品事業者等による栄養改善ビジネスの国際展開支援

【令和3年度予算概算決定額 15（15）百万円】

<対策のポイント>

新興国・途上国の栄養不良問題の解決につながる栄養改善ビジネスのビジネスモデル構築に必要な支援を行います。

<政策目標>

- 途上国における栄養改善プロジェクト数を拡大し、活動を推進します。
- 「栄養改善事業推進プラットフォーム（N J P P P）」への参画企業・団体数を拡大します。

<事業の内容>

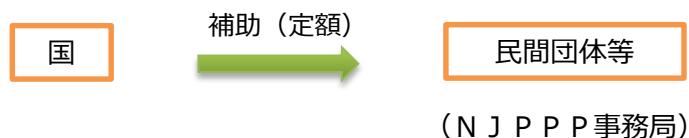
1. 情報発信、セミナー・シンポジウム開催支援

- 栄養改善事業推進プラットフォーム（N J P P P）と連携し、**2021年に開催する「東京栄養サミット2021」**に向け、**情報発信、セミナー・シンポジウム開催**を支援します。

2. 海外進出の促進

- 関係府省庁や国際機関・海外NGO等と連携し、国内食品事業者等の栄養改善ビジネスの国際展開を推進する**プロジェクト案件を形成**します。さらに、現地パートナー企業とのマッチング体制強化等により食品事業者の**海外進出を促進**します。

<事業の流れ>



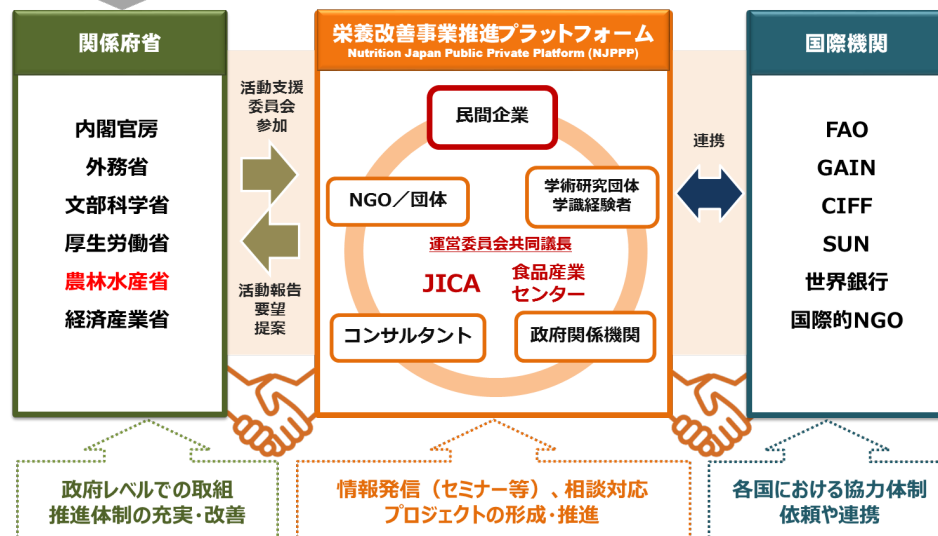
<事業イメージ>



「栄養改善事業推進プラットフォーム」
Nutrition Japan Public Private Platform

官民連携で栄養改善事業を推進する枠組み。日本の技術と知見を活かした民間企業のアイデアをベースに、栄養改善効果が期待できる途上国の国民向け食品供給事業などのビジネスモデル構築を目的とする。本プラットフォームの活動は政府や海外の関係機関とも連携して、一体的に進めていく。

健康・医療戦略推進本部 / 健康・医療戦略推進会議
/ 医療国際展開タスクフォース



包括的生産サイクル支援による西アフリカ食料安全保障・ 栄養改善推進事業

【令和3年度予算概算決定額 31（35）百万円】

〈対策のポイント〉

西アフリカ地域において、小規模稲作農家の栄養改善を実現するため、**栄養に関する基礎的知識の向上を農業支援と併せて実施**します。

〈政策目標〉

- 事業対象コミュニティにおいて、対象農民の8割が、事業終了後に**食品栄養群や日常的に摂取する食物の栄養価等、栄養に関する基礎的知識を習得**
- 事業対象コミュニティにおいて、農民グループ等を通じた**米の販売が実施され、小規模農家の収入向上に寄与**

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

包括的营养改善支援 31（35）百万円

国連世界食糧計画（WFP）が有する栄養改善に関する知見、西アフリカ農村地域における援助経験と現地のネットワーク、また、買い上げた農産物を支援物資として利用するWFPのスキーム（P4P：Purchase for Progress）を活用し、**栄養に関する基礎的な知識向上を図る啓発活動と、小規模農家の収入向上につながる生産技術や販売スキルを向上させるための農業支援を同時に実施**します。

〈参考：国連世界食糧計画（WFP）とは〉

- WFPは1961年に設立。
- 本部はローマにあり、99ヶ国に402カ所の事務所を有する国連機関。
- 日本は世界第10位の拠出国（2019年）。
- 主な活動内容：
 - ・ 自然災害や紛争などにより深刻な食料・栄養不足にある人々への食料配布
 - ・ 成長や教育を目的とした食料支援
 - ・ 労働・職業訓練の対価としての食料支援
 - ・ 小規模農家の生産性向上のための食料支援

〈事業の流れ〉

